桜井市立小中学校適正化実施計画(前期)にかかる地域説明会 質問一覧および回答

項目分類	質問内容	教育委員会の回答・考え方
通学方法	一貫校の場所は東中になるのはいいけど、朝倉に住んでる方の通学はバスを出してほしい。小学校低学年のうちから電車通学は怖すぎると思う。	文部科学省は、通学距離の基準として「小学校でおおむね4km以内、中学校でおおむね6km以内」と設定し、通学時間の目安を「1時間以内」としています。
通学方法	スクールバスの具体的方法	現在、朝倉小学校と初瀬小学校に在籍する児童の多くは徒歩で通学しています。桜井東中学校に在籍する生徒は、居住地によって、徒歩・電車・コミュニティバス等で通学しています。また、上之郷地区・吉隠に居住する児童生徒はスクールバスで通学しています。
通学方法	小学校低学年の通学について私立幼稚園並みのスクールバスの充実を。	小中一貫校でも、徒歩・電車・コミュニティバス・スクールバスで通学することを予定していますが、通学距離が長い児童は、スクールバスを含めた通学方法を想定しています。詳細は地域や保護者の皆様のご意見をふまえ、今後検討していきます。
通学方法	スクールバスの充実とは、具体的にどのようなコースになるのか。	現在、初瀬小学校・桜井東中学校の児童生徒が利用しているスクールバスの1日あたりの平均的な運行本数は、授業や学校行事に合わせて、登校時(2本)及び小学校の低学年・高学年下校時、中学校の下校時・部活終了時の各1本で、計6本となっています。小中一貫校においてもこれに準じることになりますが、朝倉小学校区分を加え、利用する児童生徒数に応じて、同時刻帯に走るスクールバスの本数を決定します。スクールバスの発着場は、児童生徒の居住地を踏まえ、安全に乗降できる場所を選定します。
通学方法	朝倉から中学は今まで通り電車通学ですか？通学路危ない所あります(土砂災害)。通学方法はどのような感じですか？駅から学校までバス？校区外の児童も含め教えてください。校区外から受け入れるとのことですが、場所的に通学しにくいのでは？車の送り迎えが増えるなら一方通行などもあり道も狭く危ないと思います。	
通学方法	通学方法はスクールバスはどこまでか？	
通学方法	スクールバスの運用について、もう少し詳細を明記してほしい。一時間以上かかる人(徒歩)でのみバスなのか？現在電車通学をしている中学生がいる校区は小学生でも電車なのか？	
通学方法 特認校	通学区域外からの就学となった学生の通学は親の送り迎えなのか、スクールバスなのか。	基本的には、特認校制度による通学は「保護者の責任において行う」ことを想定しています。公共交通機関(電車やコミュニティバス)を利用する場合は、通学定期の利用は可能です。
校区変更 特認校	特認校とは転入を認めるが転出(他中学校エリア)への通学は認められるのか？	特認校制度の有無に関わりなく、児童生徒の居住地によって就学する学校が決まります。朝倉小学校区・初瀬小学校区の児童生徒が他の桜井市立の小中学校に通学することはできません。
校区変更	小学校低学年の通学の負担が大きすぎるので、慈恩寺からの城島小学校への通学は希望すれば可能でしょうか。	
小中一貫校	小中一貫校になった場合、教師はどうなりますか？今まで通り小学生と中学生は分かれますか？それとも教科で専門の先生に教えていただけますか？	教職員の数は、文部科学省の学級編制基準に基づいて設定されます。小中一貫校でも学級数に応じて小学校・中学校ごとに配置されます。特別支援学級の担任も、国の基準により、学級数によって小学校・中学校ごとに設定されます。小学校の教科において、専門の教員が学習を指導する教科担任制を導入することも可能です。
小中一貫校	学校統合を行うことによって先生の人数はどうなるでしょうか？今現在で先生の人数が足りていないと言われている中どうなるでしょうか。支援教室に在籍している子供たちのこともちゃんと見てほしいと思います。先生一人一人に負担なく、教師やって良かった、子供たちも一人一人先生を見てあの職業(先生)になりたいと思ってもらえるような先生が一人でもいてくれるように教師のことを考えてほしいなと思います。	

桜井市立小中学校適正化実施計画(前期)にかかる地域説明会 質問一覧および回答

項目分類	質問内容	教育委員会の回答・考え方
小中一貫校	未来の子供たちのために「より良い教育」ということでいろいろと審議をしてくださったと思います。小中一貫校について今まで経験も少ないので不安もあります。どんな良い面があり、どんなデメリットがあるのか、決定するにあたりどのようなご意見があったのでしょうか。内容をもっと知りたいです。	<p>小中一貫教育を行う背景</p> <p>『6-3制』(就学の期間が小学校6年間、中学校3年間)が導入された昭和20年代前半と比較して、「児童生徒の身長伸びや体重の伸びが最も大きな時期が、当時よりも2年程度早まっている」「自己肯定感や自尊感情に関わる意識が小学校高学年から急に低下」等の発達の早期化等に関わる現象、「不登校の児童生徒数・いじめの認知件数・暴力行為の加害児童生徒数が中学1年で大幅に増加」等に現れる新しい環境での学習や生活に不適應を起こす、いわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる現象に対応するために、小中学校9年間全体での取組を充実させることが重要であることが確認されてきました。</p> <p>家庭をめぐる状況が変化し、地域社会における子どもの社会性育成機能が以前より低下する中で、子どもたちの集団教育の場である学校の役割への期待が相対的に大きくなっています。一方で、少子化等に伴って学校自体が小規模化してクラス替えができなかったり教職員の人数が少なくなつて多様な指導を受けられなくなったりするなど、教育上のデメリットが健在化してきました。</p> <p>これらのため、小中学校の9年間を通じて教育・指導を行うことの必要性が指摘されるようになりました。</p>
小中一貫校	桜井市内で最初の公立の小中一貫校になった場合の教育におけるメリットと考えられる具体的な対策を知りたい。子供が減るのでという消極的な小中一貫校ではなく積極的な9年教育の試みを期待しています。	<p>【小中一貫教育のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中1ギャップといわれる現象の緩和・解消 ○ 小学校と中学校の段差を緩和することができ、小学校教育から中学校教育への円滑な移行を促すことが可能となります。 ■系統性・連続性を意識した教育 ○ 系統的・継続的な学習によって、教育効果が高まることが期待されます。「教科内や教科間の学習内容の関連性を意識して、指導順序や指導内容を工夫する」「児童生徒にとって理解が難しい内容について、定められた学年以外でも繰り返し指導したり、関連性の高い内容について前の学年で時間を割いて重点的に丁寧に指導する」などの工夫が可能となります。また、生徒指導面についても、9年間継続して、児童生徒の個性に応じたきめ細やかで丁寧な指導を行うことができます。 ■異学年交流による精神的な発達 ○ 小中一貫校では小学1年生から中学3年生までが同じ学校で学びます。児童生徒が学校行事や授業を通して異学年交流を行うことによって、上級生から下級生に対する思いやりの心や規範意識、下級生から上級生に対する憧れの気持ちなどが醸成され、精神的な発達や社会性の育成が期待されます。
小中一貫校	小中一貫教育の内容はどのようなものか。保護者の心配はどんな学級になるのか概要がつかめないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の区切りを柔軟にできる ○ 通常は小学校6年間・中学校3年間という学年の区切り(6-3制)ですが、小中学校の9年間を5年・4年間と区切ったり(5-4制)、4年・3年・2年と区切ったり(4-3-2制)する柔軟な学年の区切りを設定することにより、子どもたちの発達段階に応じた効果的な教育課程を組み、児童生徒の指導を行うことが可能となります。
小中一貫校	初瀬と朝倉の小学校の人数は増えるが中学生は同じなのでクラス数としても変わらない。そうであるなら今でも特色を生かした教育はできるのではないか。	<p>【小中一貫教育のデメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校卒業・中学校入学の達成感や新鮮さが無い ○ 9年間を連続して学ぶことになるため、中学校入学を機に、子どもたちが新鮮な気持ちになったり心機一転してがんばろうとしたりする機会が失われてしまいます。 ■リーダーシップや自主性を養う機会が減る ○ 小学校では高学年になると学校行事などにおいて重要な立場となり、リーダーシップや自主性が養われますが、その機会が減ってしまう可能性があり、そのことに対する取組が必要となります。 ■人間関係が9年間固定しやすい ○ 9年間を同じ児童生徒の構成で過ごすことになり、人間関係が固定しやすいことに対する配慮が求められます。 ■年齢の離れた児童生徒と一緒に生活することで、委縮したり悪影響を受ける心配がある ○ 身体能力の差が大きな年齢の児童生徒と一緒に生活したり活動したりするわけですから、ケガや危険を防ぐための配慮・対応策が当然のことながら必要となります。先進的に取り組んでいる学校の事例では、中学生は優しくなり、下の学年の子どもたちの面倒をよくみる傾向が多いとされています。
特認校	特認校の魅力を明確にしてほしい。	朝倉小学校区・初瀬小学校区の児童生徒数は今後とも減少する傾向にあり、どの学年でも2学級編制を確保することが難しくなることが見込まれます。桜井市内に在住する小中学生が特認校制度を利用して小中一貫校に通学することによって児童生徒数が増えて2学級編制となり、クラス替えが可能になります。また、「少人数での学習が安心できる」というような特性を有している子どもにとっては、この小中一貫校が過ごしやすい環境となることがあります。
特認校	朝倉・初瀬区域以外から集めてくるのはどうかと思う。できれば東中学校は朝倉・初瀬だけにしてほしい。	

桜井市立小中学校適正化実施計画(前期)にかかる地域説明会 質問一覧および回答

項目分類	質問内容	教育委員会の回答・考え方
災害対策	初瀬区域の方面は道が狭く、事故など発生すれば、大渋滞が起こります。また、観光シーズンも大渋滞が起こります。統合された東中学校が災害に遭った場合、緊急車両の到着が大幅に遅れることが考えられますが、どのように対策等お考えですか？	小中一貫校を建設する桜井東中学校敷地は東西方向に片側1車線の道路しかなく、災害発生時には人・物資の移動が困難になることが想定されます。特に初期段階では広い範囲で混乱していると思われ、子どもたちが直ちに移動するのは困難となるかもしれません。学校には防災無線や発電機が配置されており、防災無線を使って市対策本部や外部と連絡をとりながら対応を行います。また、学校自体が孤立することを想定して、適当な量の医薬品を備蓄するとともに、保護者に子どもたちを引き渡すまでの間、児童生徒が学校に数日間は滞在可能な物資を保管することを考えています。
災害対策	東中学校の浸水対策としてどのようにするのか。具体的に周辺住民の合意は。	小中一貫校の建設にあたっては、災害に強い安全なものにするるとともに、土砂災害や浸水への対応策について、全国の対応事例を参考にして児童生徒の安全を確保します。周辺住民に対しては、学校建設にあたって説明会を開催する等により、理解を得ながら進めていきます。
跡地利用	他の方の質問にも出ましたが、やはり東中の洪水浸水想定区域は気になるので、できれば初瀬小の校舎は何かの施設に変えるようになれば良いと思います(取り壊しとP.15に少し書いてあったので)。	小中一貫校開校後の朝倉小学校と初瀬小学校について、建物を含めた跡地利用は市全体で検討することになっています。地域の活性化に資するよう有効活用するとともに適切な避難場所の選定・指定を市当局と協議していきます。ご指摘の「当日説明資料15ページ」の記載は、桜井東中学校の旧校舎取壊しに関するものとなります。
跡地利用	朝倉小と初瀬小は取り壊しですか？その後の敷地計画はありますか？	
跡地利用	校舎跡地の利用方法は？具体的に避難場所としての対応は？	
跡地利用	今の朝倉小学校はどう活用していただけますか？地域として明るくなるようにしてほしいです。	
人口減少	朝倉小学校がなくなることで朝倉台への入居減、転出が進み人数減少が考えられる。魅力を発信して人数減少にならないように対策をお願いします。	地域の活性化は市全体で検討する内容ですが、魅力ある学校づくりを進めることが、地域の活性化にもつながると考えています。国が示す学校の学習指導要領では、「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子どもたちに育む『社会に開かれた教育課程』の実現に向けて、地域と学校の連携・協働の推進が重要であるとされています。学校教育を学校内に閉じるのではなく、地域の方々の協力や物的な資源の活用等により学校教育を充実させていきます。通学については、児童生徒・保護者の負担を軽減する措置を講じていきます。
人口減少	人口減(児童生徒減)は小中一貫校だけで解決しない。桜井市としてしっかり考えるべき。教育委員会としての努力はありがたいがこれだけでは解決できないということを認識していただきたいと思いました。	児童生徒数の推計値は、「国勢調査による人口を基準として、人口変動要因(出生・死亡・人口移動)の仮定に基づいて将来の人口を推計(コーホート要因法)したもの」により、算出した数値(平成29年度現在)を掲載しています。その後、市外転出を含めた校区外への異動や私立学校等への進学のため、実数が推計値よりも低くなったものと思われます。
人口減少	P.4の推計結果の見通しが甘いように思いました。どのような基準でお考えなのかわかりませんが、市全体のまちづくりや子育て支援を充実させて若い層に子育てしやすく住みやすくできるようなまちにしていかないと、ますます高齢化社会になってしまうように思います。	
クラス人数	各学年の人数は何人を想定されていますか。	2学級規模となるよう、各学年の児童生徒数は小学校36人以上、中学校41人以上を想定しています。
学校施設	中学校は建て替えですか？修繕ですか？	子どもたちに新しい教育環境を提供する方法としては、「校舎を新築する(建替える)」「現在の校舎を長寿命化して内部をつくり替える」「校舎の一部を新築し、その他の部分を長寿命化する」の3つの方法があります。『開校までのスケジュール』では、令和7年度に小中一貫校の施設基本構想を策定する予定ですので、その時点までに3つの方法のうち、1つの方法に決定します。
学校名	校名について 案:泊瀬朝倉小中学校	小中一貫校の校名については、令和8年度に設置を予定している『小中一貫校推進委員会』において、検討します。
学童保育所	学童の対応および送迎は。	現在は、朝倉小学校と初瀬小学校に学童保育所を開設しています。学童保育所は働く保護者の皆様を支えるためになくてはならないものです。子どもたちの送迎が保護者の負担とならないよう、学童保育所の設置場所について検討していきます。

桜井市立小中学校適正化実施計画(前期)にかかる地域説明会 質問一覧および回答

項目分類	質問内容	教育委員会の回答・考え方
地域	東中学校区朝倉小学校地区は地域の人々とのつながりがすばらしい面がたくさんあります。このすばらしさをなくすことのないような教育現場を皆で作っていきたいです。朝小がなくなるのはとても残念です。	これまで、2つの小学校が地域の方々に大切にされ、支えていただいていたことは十分に認識しています。新しくできる小中一貫校が地域住民にとって「誇り」となるような魅力ある学校づくりを進めていきます。
情報提供	今回は詳しい説明ありがとうございました。開校までのスケジュールについて1点お聞きしたいのですが、どのくらいでスケジュールが進んでいるかなどはどこを見たら知ることができますか？わかざくらなどで載るように。	開校までのスケジュールの進捗状況については、市ホームページに掲載するとともに、朝倉小学校区・初瀬小学校区の皆様には、自治会等を通じてお知らせします。また、必要に応じて市広報紙「わかざくら」に掲載します。